



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 エムビーエス
コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
四半期報告書提出予定日 平成29年1月11日

(氏名) 山本 貴士
(氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-37-6585

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	1,210	39.5	137	70.5	167	69.9	111	83.3
28年5月期第2四半期	867	5.6	80	△12.6	98	△11.7	61	△36.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	153.77	153.14
28年5月期第2四半期	89.86	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年5月期第2四半期	2,463	1,991.14	1,450	1,366.00	58.7	1,991.14
28年5月期	2,396	1,878.49	1,369	1,366.00	57.0	1,878.49

(参考)自己資本 29年5月期第2四半期 1,448百万円 28年5月期 1,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	13.5	250	19.6	277	15.4	183	11.6	251.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期2Q	727,500 株	28年5月期	727,500 株
29年5月期2Q	— 株	28年5月期	— 株
29年5月期2Q	727,500 株	28年5月期2Q	679,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府、日本銀行による経済・金融政策を背景に、雇用・所得環境の改善がみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、米国の金融政策正常化の影響、中国及び新興国をはじめとする海外経済の減速、英国のEU離脱や米国の政権移行など不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、マイナス金利政策による住宅ローン金利の低水準や税制優遇策の継続等により新設住宅着工戸数は、賃貸住宅を中心に堅調に推移しているものの、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど厳しい状況も続いております。

このような状況において当社は、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化を継続して取り組み受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底や施工管理のほか、品質・技術の向上に努めるとともに人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大と収益力の向上も図って参りました。

これらにより第2四半期累計期間における売上高は、1,210,419千円（前年同期比39.5%増）、営業利益は、増収による売上総利益の増加に加えコスト圧縮効果もあり137,377千円（前年同期比70.5%増）となりました。また経常利益は、当社太陽光発電による売電収入20,551千円、助成金収入10,144千円、外国社債に関する有価証券利息5,928千円のほか、減価償却費12,990千円、支払利息1,272千円の計上等により167,356千円（前年同期比69.9%増）、四半期純利益は、111,870千円（前年同期比83.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の増加により、売上高は1,137,641千円（前年同期比37.1%増）となり、セグメント利益は210,374千円（前年同期比41.2%増）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が増加したため、売上高は71,597千円（前年同期比91.2%増）となり、セグメント利益は5,873千円（前年同期はセグメント損失97千円）となりました。

(その他)

FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は1,180千円（前年同期比35.9%増）となり、セグメント利益は150千円（前年同期比27.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ67,921千円増加し、2,463,924千円となりました。これは主に、未成工事支出金79,360千円の増加、完成工事未収入金36,992千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ14,029千円減少し、1,012,972千円となりました。これは主に、工事未払金84,075千円の減少、長期借入金44,136千円の減少、支払手形124,131千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ81,951千円増加し、1,450,951千円となりました。これは主に、利益剰余金111,870千円の増加、その他有価証券評価差額金29,919千円の減少等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月11日に発表いたしました平成29年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	584,089	536,577
受取手形	96,867	121,557
完成工事未収入金	386,874	423,867
売掛金	15,324	31,125
未成工事支出金	101,201	180,561
仕掛販売用不動産	6,210	6,464
原材料及び貯蔵品	15,401	12,362
その他	27,471	32,536
貸倒引当金	△5,651	△5,219
流動資産合計	1,227,787	1,339,832
固定資産		
有形固定資産		
土地	395,240	395,240
その他(純額)	295,549	279,774
有形固定資産合計	690,790	675,015
無形固定資産	1,626	3,069
投資その他の資産		
投資有価証券	326,293	283,243
その他	154,726	169,831
貸倒引当金	△5,221	△7,066
投資その他の資産合計	475,798	446,007
固定資産合計	1,168,215	1,124,092
資産合計	2,396,003	2,463,924
負債の部		
流動負債		
支払手形	—	124,131
工事未払金	263,944	179,869
買掛金	40,065	46,648
1年内返済予定の長期借入金	88,272	88,272
未払法人税等	48,985	62,473
完成工事補償引当金	58,367	61,609
その他	121,214	104,742
流動負債合計	620,849	667,748
固定負債		
長期借入金	316,360	272,224
資産除去債務	5,802	6,056
その他	83,990	66,944
固定負債合計	406,152	345,224
負債合計	1,027,002	1,012,972

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,164
資本剰余金	343,931	343,931
利益剰余金	606,455	718,326
株主資本合計	1,285,551	1,397,422
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	81,049	51,129
評価・換算差額等合計	81,049	51,129
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,369,000	1,450,951
負債純資産合計	2,396,003	2,463,924

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	867,908	1,210,419
売上原価	583,655	819,893
売上総利益	284,252	390,525
販売費及び一般管理費	203,686	253,148
営業利益	80,566	137,377
営業外収益		
不動産賃貸収入	2,110	2,183
有価証券利息	8,185	5,928
売電収入	16,388	20,551
助成金収入	10,000	10,144
その他	1,509	8,422
営業外収益合計	38,193	47,231
営業外費用		
支払利息	1,744	1,272
売電費用	678	1,133
減価償却費	9,521	12,990
株式交付費	8,153	-
その他	167	1,855
営業外費用合計	20,265	17,251
経常利益	98,494	167,356
特別損失		
投資有価証券評価損	1,850	-
特別損失合計	1,850	-
税引前四半期純利益	96,644	167,356
法人税、住民税及び事業税	32,728	56,902
法人税等調整額	2,872	△1,416
法人税等合計	35,601	55,485
四半期純利益	61,043	111,870

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	96,644	167,356
減価償却費	12,171	18,711
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,803	1,413
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	518	3,242
受取利息及び受取配当金	△8,674	△6,687
支払利息	1,744	1,272
投資有価証券評価損益(△は益)	1,850	-
株式交付費	8,153	-
売上債権の増減額(△は増加)	△91,272	△77,483
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,688	△76,576
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,772	46,639
その他	△80,055	430
小計	△153,576	78,319
利息及び配当金の受取額	488	758
利息の支払額	△2,062	△1,288
法人税等の支払額	△104,072	△46,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△259,222	31,648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
保険積立金の解約による収入	-	2,340
保険積立金の積立による支出	△20,555	△17,455
有形固定資産の取得による支出	-	△18,072
無形固定資産の取得による支出	△1,800	△1,770
貸付けによる支出	-	△15,000
貸付金の回収による収入	874	19,170
敷金及び保証金の差入による支出	△573	△1,069
その他	△10	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,064	△31,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△51,485	△44,136
リース債務の返済による支出	△365	△1,519
株式の発行による収入	292,151	-
自己株式の売却による収入	40,040	-
新株予約権の発行による収入	2,400	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	282,741	△45,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81	△1,649
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,372	△47,512
現金及び現金同等物の期首残高	562,329	584,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	563,701	536,577

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成27年8月12日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式処分を実施しました。この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が150,152千円、資本準備金が150,152千円、その他資本剰余金が28,136千円それぞれ増加、自己株式が11,904千円減少し、当第2四半期累計期間において資本金が335,164千円、資本剰余金が343,931千円となっております。

当第2四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	829,585	37,454	867,039	868	867,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	829,585	37,454	867,039	868	867,908
セグメント利益又は損失(△)	148,975	△97	148,877	206	149,083

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,877
「その他」の区分の利益	206
全社費用(注)	△68,517
四半期損益計算書の営業利益	80,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,137,641	71,597	1,209,239	1,180	1,210,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,137,641	71,597	1,209,239	1,180	1,210,419
セグメント利益	210,374	5,873	216,247	150	216,398

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	216,247
「その他」の区分の利益	150
全社費用(注)	△79,020
四半期損益計算書の営業利益	137,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。